

1. 教育活動の目標と方策

(1) 学習指導

①コミュニケーション能力育成教育の推進

ア 第1学年では例年通りブックトークを実施し読書活動を推進した。各教科の授業と連携した図書の整備や展示を行った。「図書館だより」「新着図書案内」を発行し啓発活動を行った。

イ 東京都NIE推進協議会からNIE実践校の指定を受け、全学年で新聞を活用した授業、学習活動、探究活動を行った。また、同協議会研究発表会で報告した。

ウ 国語科では俳句、短歌等に係る各種のコンテストに応募した。校内発表会として、国語科のブックトーク、「人間と社会」成果報告会、英語科、ビジネス科及び各教科・科目の授業内での調査報告や研究発表を実施した。

②Global Education Network 20指定校(GE-NET20)としての活動の充実

ア 全学年で多読多聴の授業を継続して実施した。TGG校外学習(1年)、オンライン英会話(2年)、ブリティッシュヒルズ(2年)、Global English Camp(3年)を実施した。

イ 実用英語検定、全商英語検定の受験を推奨し、教員による補講の他、ALTによる面接指導を実施した。

ウ 校内では、英語Book Talk(1年)、Picture story(2年)、Graduate Speech(3年)の各コンテストを開催したほか、夏季休業明けの課題発表など授業内で完結する発表会を各学年で実施した。校外では全商スピーチコンテスト、English Business Plan Contest(EBPC)に参加した。

エ 本校主催で冬季休業中にベトナム・ビジネス・スタディーツアーを実施した。また、国際大学連合が主催するイギリス語学研修に参加した。

③ビジネス科による特色ある教育活動の実践

ア クエストエデュケーション、マイナビ・キャリア甲子園、日本政策金融公庫高校生ビジネスプラングランプリ、都教委東京プランニングラボに参加し、関係する企業と連携した活動を実施した

イ 1年次に全商簿記検定、全商情報処理検定、全商ビジネス計算検定を全員受検、2年次以降に上級の受検を推奨した。各検定に向けた補習、補講を実施した。また、12月にクラス対抗簿記コンクール、情報処理コンクールを実施し、検定合格に向けた動機付けを行った。

ウ 既出のほか、都商研主催の簿記、ビジネス計算、ワープロ各競技大会に出場した。校内での発表会として、「東京の経済」研究報告、「プレゼンテーション」研究報告会を実施した。

④学力向上、進学対策のための指導の充実

ア SDGs探究プロジェクトを1年・2年で実施した。社会科で地域機関と連携した探究学習及び発表会を実施した。

イ ほぼすべての授業でICT機器を使用した。個人端末等を利用した調べ学習、グループワーク、パワーポイントによる発表、Teamsによる課題配信と提出等を実施した。

ウ 朝、放課後、休日、休業中等を利用し、計画的な補習、講習、検定向け補講を随時実施し、資格取得の動機づけや家庭学習の定着を図った。

エ 校内でプロジェクトチームを2年計画で設置し、探究活動・発表活動の全校的な基準を明確化する検討を始めた。

(2) 進路指導

①大学等受験対策の充実

- ・ スタディーサポートとその振り返り講演を実施した。1・2年生は実力診断テスト、3年生は共通テスト模試を実施した。希望者に向けに各種の模試の受検を推奨した。進学希望者対象に7月下旬から担当生徒の結果発表に至るまでの個別指導を行った。教員向けに小論文指導に関するオンライン研修を実施した。

②キャリア教育の充実

- ・ 1・2年生に年に2回の進路ガイダンスを、パネルディスカッションの導入等内容を充実させて実施した。また、「キャリアデザイン」「東京の経済」を活用し、進路指導部、ビジネス科、各学年が連携して指導を行った。年度末には、進路決定後の3年生を講師として成功体験を共有する時間を設けた。

(3) 生活指導

①時間厳守の徹底

ア 登校時の校門指導、学年による遅刻指導、登校時の校門指導に風紀委員による挨拶運動を実施した。

イ 自転車ヘルメット着用に向け生徒による啓発活動や警察と連携した活動を行った。

③生命尊重の教育の推進

- ・ スクールカウンセラーによる全員面談、特別支援教育推進委員会(年10回開催)、特別支援教育心理師の巡回相談等を実施し、課題のある生徒の早期発見、情報共有及び心理的支援の充実を図った。また、1年生対象にいじめ防止講話を行った。

④感染症対策

- ・ 手洗い励行、教室の喚起の徹底を継続した。

(4) 特別活動・部活動

①部活動の活性化、スポーツサイエンスプロモーションクラブ事業

- ・ 事業を活用し卓球部の合理的・効果的な活動を推進した。卓球部では年間を通じた部活動体験や合同練習を実施した。

②学校行事、課外活動の活性化

- ・ 体育祭、文化祭をコロナ前と同規模で実施した。課外活動として各種コンテストへの参加、地域の行政機関と連携した地域行事への参加、地域行事等におけるボランティア活動への参加を推奨した。

③国際理解教育の充実、海外学校間交流推進校事業

ア ベトナム・ビジネス・スタディーツアーを実施したほか、オンラインで海外の学校との交流を図った。キルギス共和国大使館との交流し、同国大統領令夫人の来校につながった。

イ 伝統文化教育として例年通り平安装束を着る会を開催した。また、海外学校間交流に向け

て伝統文化理解を促進する取り組みを参加者に行った。

(5) 学校運営

①広報活動の充実

ア ホームページに「今週の桜台」のページを開設しタイムリーな情報公開を進めた。

イ 学校説明会等を8回開催、合同説明会、外部機関が主催する説明会にも参加した。近隣中学校102校及び近隣の学習塾等85校を訪問した。学校案内を中学校、学習塾等合計約600校に配布した。また、出前授業津を11校で実施した。

ウ 学校説明会等での学校紹介を本校PR委員会の生徒により行った。

エ 本校ホームページに掲載するビデオ、「#だから都立高」に掲載するビデオを作製した。

②その他

- ・ 自立予算とGE-NET予算、SSPC予算を柔軟かつ効果的に編成、執行した。
- ・ 個人情報については他の書類と識別できるように統一した取り扱いを継続した。年3回の服務研修のほか、各種会議を利用したタイムリーな啓発を実施した。

2. 重点目標（数値目標）と方策

a. 目標値の結果と比較、自己評価

	項目	目標	結果	前年比	自己評価	データ根拠
(1)	①授業満足度(生徒)	90	85.1	-4.9	△	学校評価アンケート
(2)	①大学・短大等進学率	60	66.4	6.4	○	実績値
	②進路決定率	95	93.1	-1.9	△	実績値
	③進路指導満足度(生徒)	90	90.4	0.4	○	学校評価アンケート
	④進路指導満足度(保護者)	90	90.1	0.1	○	学校評価アンケート
(3)	①生活指導満足度(保護者)	90	90.8	0.8	○	学校評価アンケート
(4)	①部活動加入率	80	79.9	-0.1	○	校内調査
	②部活動満足度(生徒)	80	77.9	-2.1	△	学校評価アンケート
(5)	①学校説明会等対応者数	1000	1066	66	○	統計
	②応募倍率[推薦]	2	1.17	-0.83	×	実績値
	③応募倍率[一次]	1.1	1.02	-0.08	○	実績値

b. 総評

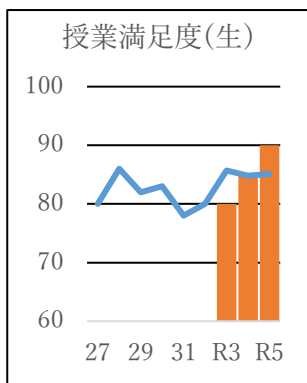
数値目標を見ると、前年比で数値の改善が見られた項目が多い。特に、進学率、入選一次応募倍率については大きく改善している。ただし、推薦は前年比減少して目標値を大きく下回っており、一次でも目標値には届いていない。

学校評価アンケートから導き出す数値は全体に改善されているが、改善幅はわずかであり、経年変化で見ると大きく変動したとは言えない。ただし、引き続き85～90%の水準を維持していることや、90%の目標値を達成していることを考えあわせれば、学校の取組全般について一定の評価を得ているものと考えられる。

応募倍率について数値が改善されたとはいえ最大の課題は募集対策である。入学後の満足度は高いことから、引き続き「在籍する前に良さが伝わる」広報活動を模索し、推進する。

c. 経年変化

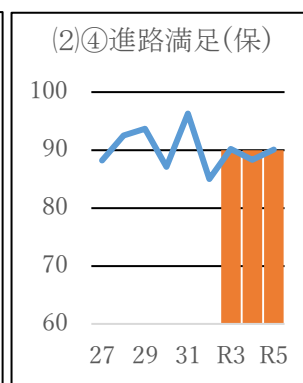
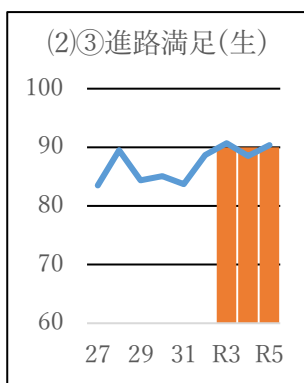
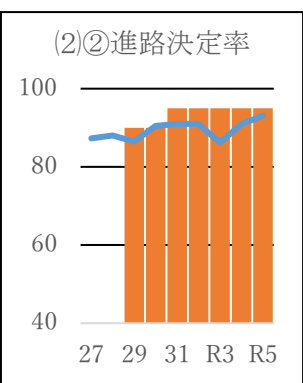
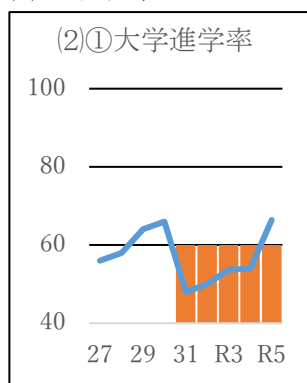
(1) 学習指導



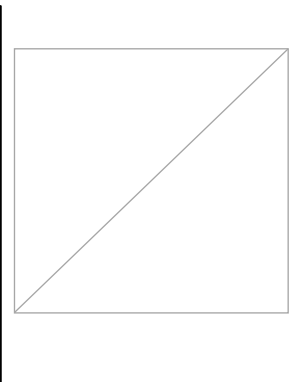
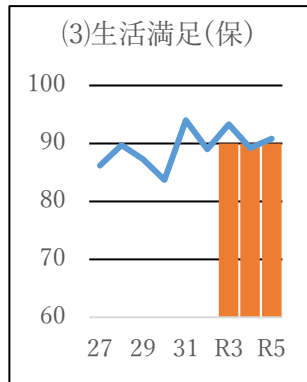
【グラフについて】

- ・平成27年度からの同一指標の経年変化。
- ・棒グラフは当該年度の目標値、折れ線グラフは結果。
- ・棒グラフがないところはその年度には目標として設定されなかったことを示している。
- ・(保)は保護者アンケート、(生)は生徒アンケート。
- ・比較しやすいようにグラフの最低値が0ではない。

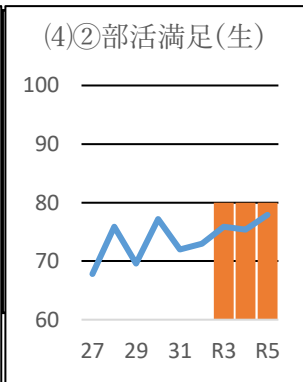
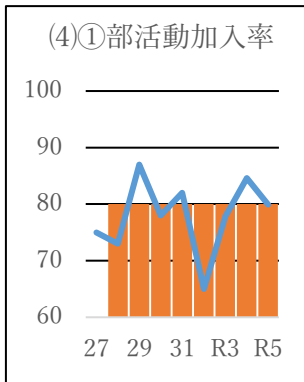
(2) 進路指導



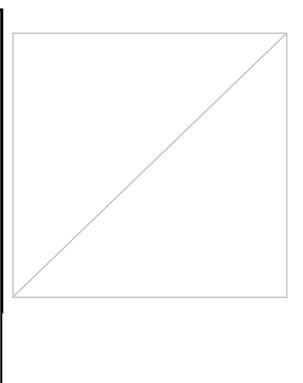
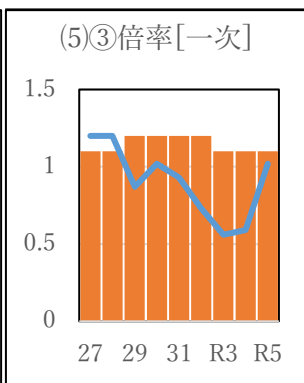
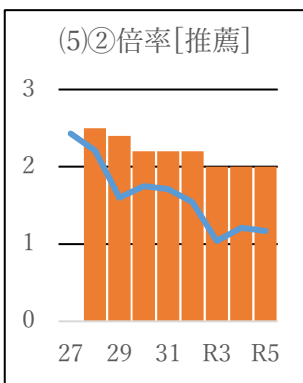
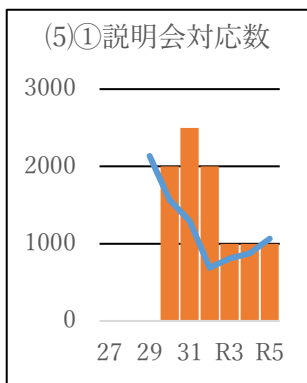
(3) 生活指導



(4) 特別活動・部活動



(5) 学校運営



以上